

「芽吹きの家」会員の絵手紙から



滝沢 君子（横倉）



斎藤 綾子（箕作）

村の歳時記

3月「道祖神」…小正月行事として各集落ではどんど焼き(松焼き)や道祖神を祀って無病息災を願う。



村の生き物

ニホンカモシカ



国の特別天然記念物ということで、長い間保護され、人間を怖がらないので、山で出くわしても逃げようとしめない。「なんだえ」というような顔をしてじーっと見つめてくる。栄村では畑を荒らしたりはしないので、サルやイノシシのように人に憎まれることもない。長野県の「県獣」。

栄村から季節のたより

たっしゃかえ

たっしゃかえ:「お達者ですか」「お元気ですか」の意の方言

迎春

すがすがしい新年をお迎えのことと思います。昨年より始めました「ふるさと通信」も年を乗り越え、新年号をお届けできますこと大変うれしく思います。

2009年は、どんな年になるでしょうか。

あんなこともこんなこともしたいとお考えのことと思います。私たち芽吹きの間では絵手紙活動がさらに発展するよう一歩ずつ努力していきたいと考えております。皆様からの温かくも厳しいご意見をいただけたらと思っております。

本年も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、ただいま栄村は雪の少ない正月を迎えております。しかしながら必ずしや雪の中での暮らしが訪れるでしょう。

冬の一日は夜明け前からやって来ます。大型除雪機械の鼓動、自宅まわりを雪かきする父ちゃんたちの語らい、台所からはお味噌汁の香り、勤めや学校に出かける人々のにぎわい、そんな朝が毎日毎日繰り返されながら雪は積もっていきます。

このような真っ白な暮らしの中に色を添えてくれるのが郵便受けに届く絵手紙なのです。目の前の空間とともに心の中にも光が射し込んできます。

冬こそ絵手紙の力の大きさを実感するのです。
～冬来たりなば春遠からじ～さあ新しい年をスタートしましょう。

2009年元旦

栄村絵手紙芽吹きの間
会長 渡辺つや子

今年もよろしくお願い致します。

木華(きばな): 栄村では「木に華が咲く」美しい景色は雪が降り冷え込んだ朝方に見られる。霧氷・樹氷とは違う。